

20飯道路発第442号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長様

飯能市長 沢 辺 滯



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

問合せ先

建設部道路課 新井

電話 042-973-2111（内線 260）

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

埼玉県飯能市

現在、飯能市では安全で円滑な交通の確保と将来を見据えた魅力あるまちづくりを進めるため、都市再生、地域再生、中心市街地活性化などに取り組んでいるところであります。周辺では、首都圏中央連絡自動車道が中央自動車道に接続し、地域間交流が一層活発になって参りました。

しかしながら、本市の国県道をはじめとする幹線道路は、市街地から放射状に形成され、更に鉄道が2線交差して走っているため、休日や通勤時間帯の交通渋滞は著しい状況であります。市内を通過する国道299号については、近年バイパスが整備され、その効果は大きく現れているところでありますが、市街地を取り囲む環状道路の形成には今後膨大な経費が必要となって参ります。現時点では創設された、「まちづくり交付金制度」、「道整備交付金制度」などを有効に活用し、道路整備をはじめとするまちづくりを推進しておりますが、計画事業量が膨大であるため、交付金制度の現行事業期間5ヶ年では、事業によっては計画期間内に効果を発揮することが困難な場合があります。

本市のような自治体規模では、今後財政状況はますます厳しくなることが予想されますので、交付金制度の期間延長や次期計画期間への繰越制度など可能となるよう要望いたします。

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状

本市の幹線道路網は、中心市街地から放射状に形成されているため、休日や朝夕の通勤時間帯における交通渋滞は慢性化しており、通過交通だけでなく市民の生活環境にも影響を及ぼしていたが、国道２９９号バイパス等の整備により、渋滞が緩和されてきました。

一方、本市を東西に貫く国道２９９号は山間地を通り、緩やかなカーブが続き、信号も少ないことから、速度超過等による交通事故が多発している。

また、市内における歩道の整備率が低いため、健常者でも道路を歩くことが困難な状況である。

旧市街地は、古くからの街並みを形成しており、狭い路地に車が入り込み危険である。歩きやすい道路作りが必要である。

○課題

環状道路網の整備を始め、市街地を南北に貫く道路や災害時の迂回路となるべき入間川右岸道路の整備、市民生活の利便性向上を図るための生活道路の整備等が課題となっている。

また、山間地における事故防止対策、市民が安心して移動できる歩行者空間や市街地における歩行者優先の道路作りが課題となっている。

②－２ 地域の目指すべき将来像

埼玉県飯能市

地域間交流が活発で、人や車が安心して移動することができる道路を整備することにより、交通事故及び交通渋滞の解消、市民及び訪れる人への快適性の提供、ウォーキングによる健康増進を図り、元気の出るまちづくりを進めます。